

令和4年4月

ご利用者さま・関係団体 各位

令和5年度 回復期リハビリテーション病棟開設について（お知らせ）

国民健康保険山城病院組合
事 務 局

拝啓 陽春の候、ますますご清栄のことお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、このたび当組合では、下記のとおり回復期リハビリテーション病棟を令和5年4月に開設することになりましたので、お知らせいたします。

つきましては、開設準備（改修工事等）のためご迷惑をおかけいたしますが、何とぞ当組合の運営にご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

記

開設の経緯

京都府の地域包括ケア構想（地域医療ビジョン）の中で、当該山城南医療圏において、今後、回復期、慢性期の需要が見込まれることから、病床を確保するとともに、他地域への患者流出を抑制し地域内での完結率の向上が掲げられました。

これを受け、山城南地域医療構想調整会議において協議された結果、当院の回復期リハビリテーション病床増床申請について合意を得て、令和3年10月に京都府から病床の配分34床の決定を受けました。

開設に向けての整備等

現在、令和5年4月1日に回復期リハビリテーション病棟開設に向けて準備を進めております。開設場所は、老健やましろの4階フロア（定員34名）を回復期病棟として運用することになりました。これに伴い、令和4年9月末を目処に老健やましろの入所定員数は100名から66名に減床します。

設置場所	老健やましろ4階フロア（34床）を回復期病棟に転換
改修工事	令和4年10月1日から着工（老健やましろ4階フロア）
開設日	令和5年4月1日（回復期病棟として運用開始）

当組合の当面の取組み

- ・回復期リハビリテーション病棟（在宅復帰機能強化、在宅療養支援）

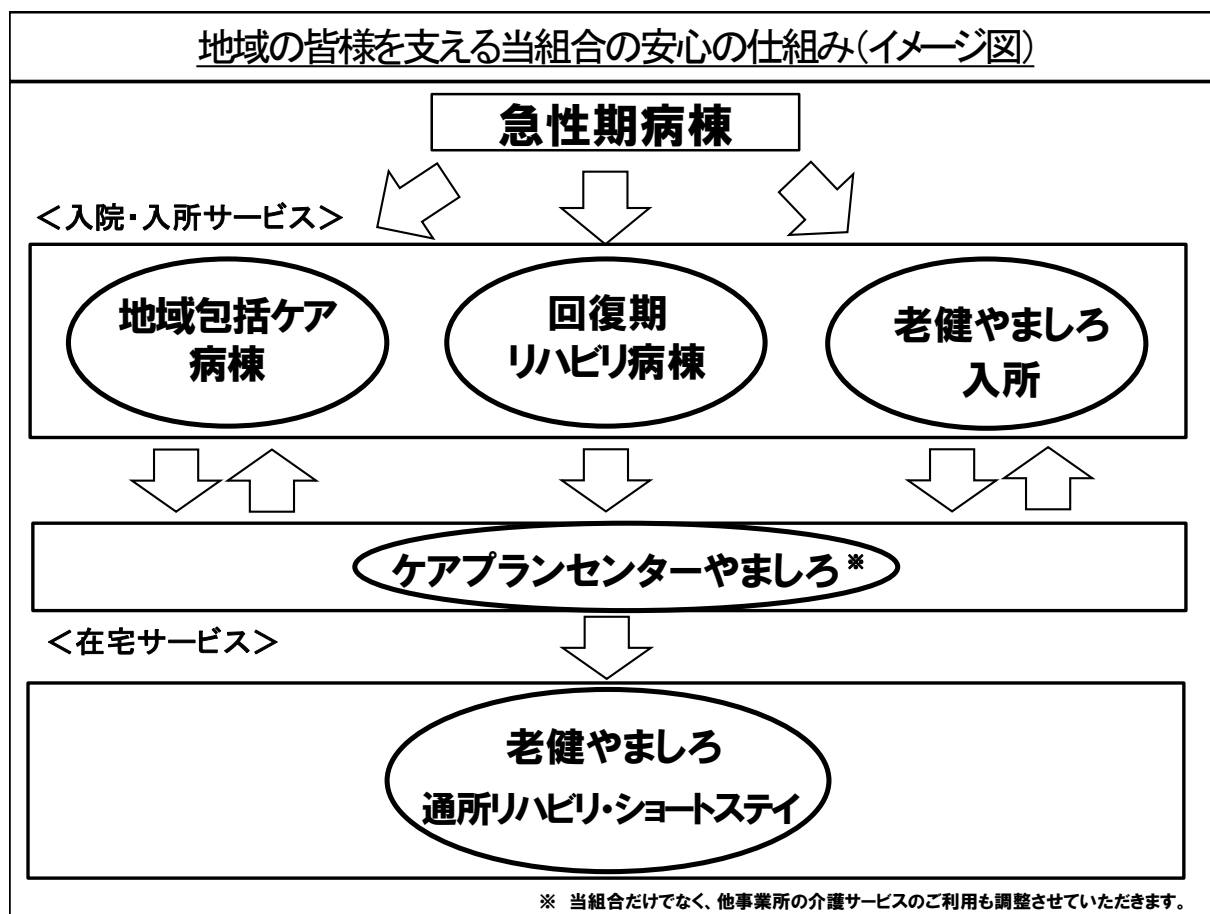
急性期の治療後（脳血管疾患や大腿骨骨折等の病気・怪我で急性期治療が必要な状態を脱したものの、医学的・社会的・心理的なサポートが必要な方々等）の患者さんに対して、自宅や社会に戻ってからの生活を少しでも元に近い状態に近づけるため、多くの専門職種（医師、看護師、リハビリスタッフ、介護スタッフ、ソーシャルワーカー等）が協働して集中的なリハビリテーションを提供します。

- ・老健やましろ（本来の老健事業の目的である在宅復帰・在宅支援の強化）

施設サービスの効率化（在宅復帰機能の強化・入所回転率の向上）を図るとともに居宅サービスの充実（短期入所療養介護・通所リハビリテーションの利用促進）を行います。

- ・居宅介護支援事業所（ケアプランセンターやましろ）（在宅介護支援）

介護保険で要介護認定を受けられた方がご自宅で介護サービスなどを利用しながら生活できるよう支援します。介護支援専門員（ケアマネジャー）が、ご本人・ご家族の心身の状況や生活環境、ご希望などにもとづいて介護サービスなどを提供する事業所との連絡・調整などをさせていただきます。



今後も引き続き、組合組織である病院（急性期・回復期、居宅介護支援）・老健（入所、ショートステイ、通所リハビリ）施設が一体となって、地域の包括ケアシステムの機能を充実させるべく、医療・介護における切れ目のないサービスを提供して参ります。また、地域の関係機関等と連携を行い、地域の皆さまにより安心・安全で質の高い医療・介護を提供できるよう努めてまいります。

ご不明な点やご質問がございましたら、下記のお問い合わせ先へご連絡いただきますようお願い申し上げます。

問い合わせ先

事務局 (0774) 72-0235

老健やましろ事務所 (0774) 73-0359